

預貯金等照会業務のデジタル・シフト

紙と郵送からの解放、そして次世代の業務プロセスへ



年間約6,000万件。膨大な「紙と郵送」の負担

「封入・封緘作業
だけで1日が終わる」

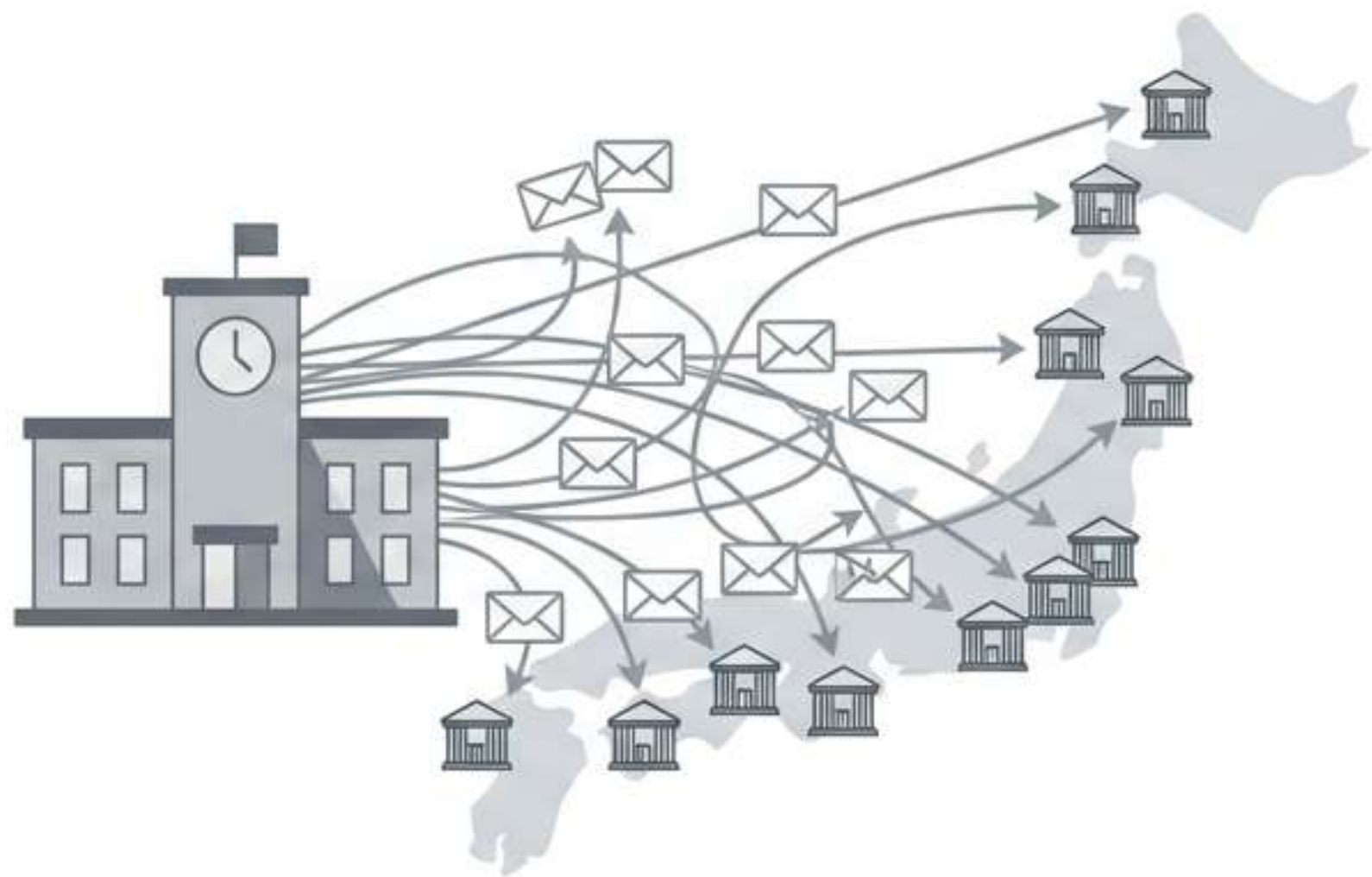
「回答が来るまで
数週間待ち」

「手入力による
ミスの不安」

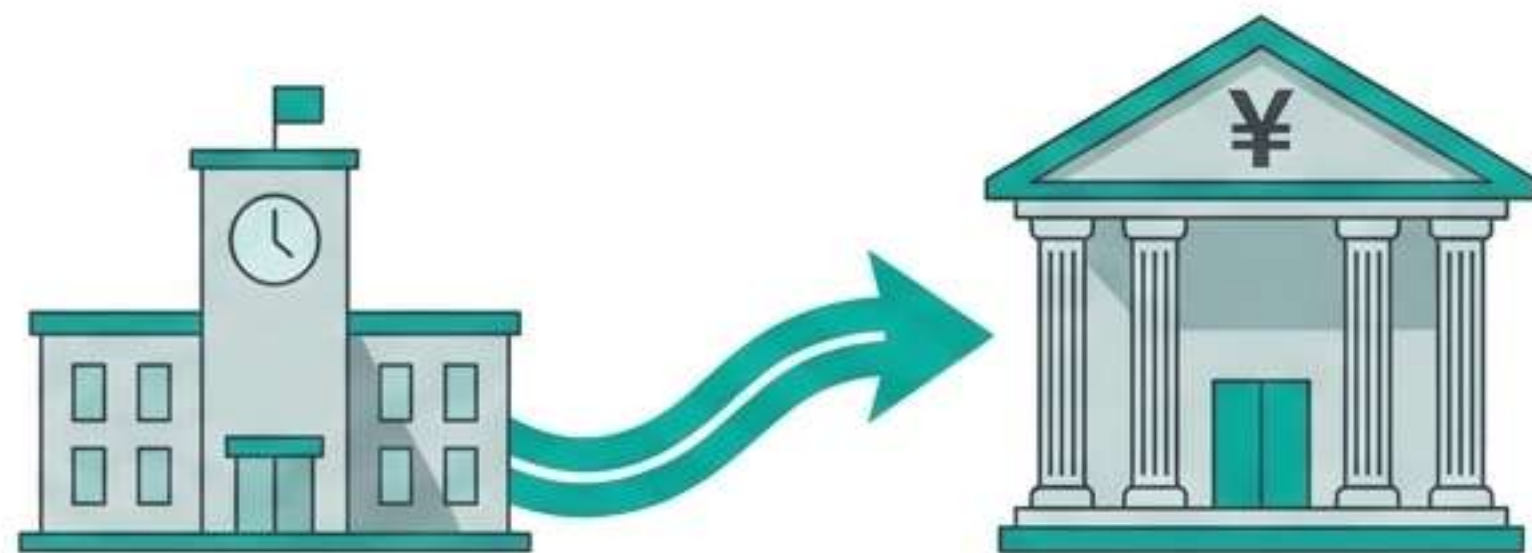


ステップ1：複数支店から「本店等一括照会」へ

BEFORE

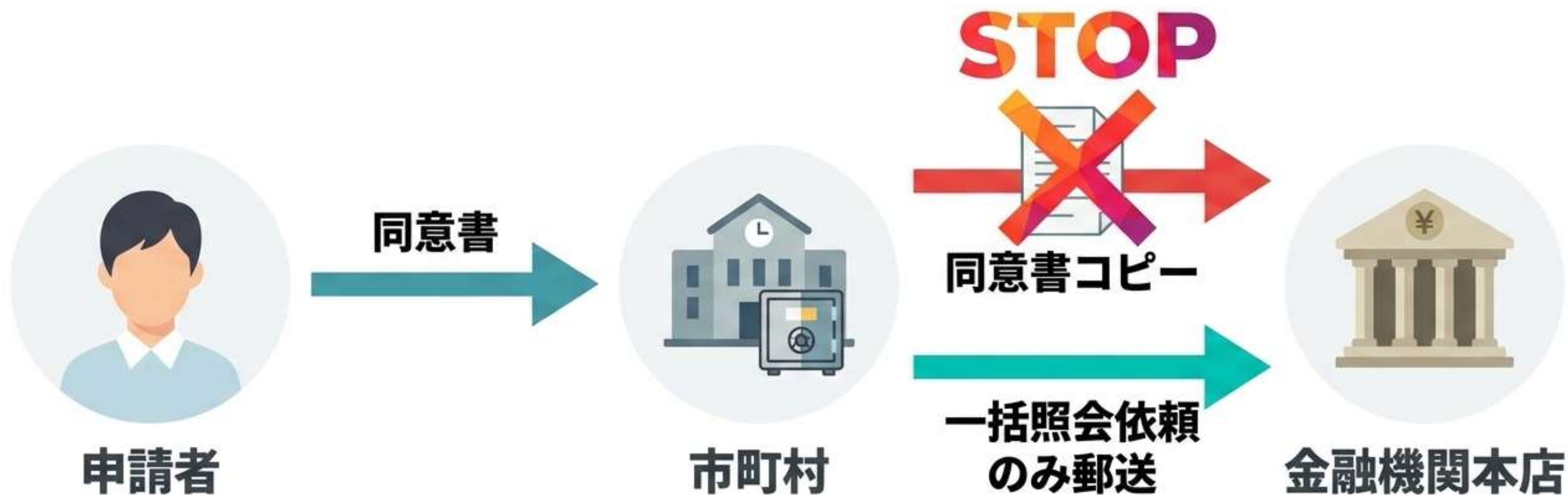


AFTER



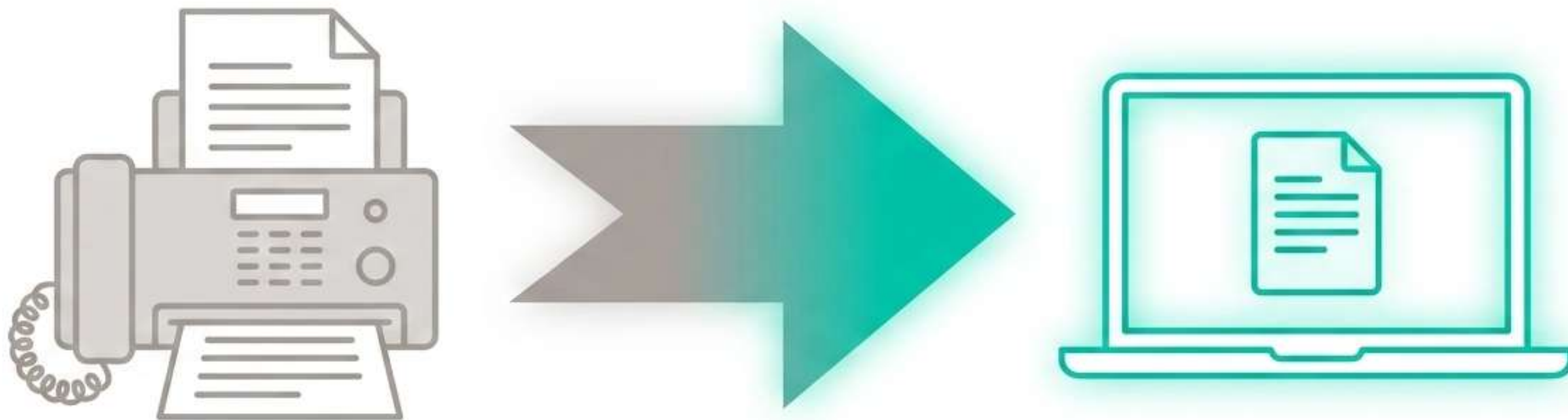
全国の店舗を調査する場合でも、
指定された本店等への一括依頼で完了します。

【重要】同意書のコピーは、銀行へ郵送不要です



申請者の同意取得は必須ですが、書類は「市町村で保管」します。
照会依頼時に「保管している旨」を書き添えるだけで進行可能です。

ステップ2：そして、究極の効率化「オンライン照会」へ



**紙のやり取り自体をゼロにする。
国が推進する次世代の共通化プロセス。**

オンライン化がもたらす3大メリット



圧倒的な迅速化

回答までの期間を
大幅に短縮



コストと手間の削減

印刷、封入、郵送料金が
すべてゼロに



業務の正確性向上

目視確認や手入力による
人為的ミスを排除

実証されたインパクト：作業時間を約90%削減

導入前

約20時間

導入後

■ 約2時間



沖縄県糸満市（人口5～10万人規模）の導入事例。圧倒的な業務圧縮を実現。

規模別オンライン化の現状とギャップ



大規模自治体ではすでに
インフラとして定着。
小規模自治体こそ、限
られたリソースを補うた
めの導入が急務です。

どのような仕組みで動くのか？



高度なセキュリティ網（LGWAN）を經由し、
統一フォーマットで安全にデータを送受信します。

導入を大成功に導く「自動化」の連携



オンラインサービス

RPA / Excelマクロ

基幹系システム

- ✓ オンライン照会補助サービスを活用
- ✓ RPAやマクロによるデータ加工・登録の自動化
- ✓ 人の手を介さない「完全な直結」を目指す

削減した時間を、真に必要な住民サービスへ



「紙」から「本店一括」へ、そして「オンライン」へ。
照会業務のデジタル化は、職員の負担をなくすだけでなく、
より迅速で的確な給付判定による住民福祉の向上に直結します。

預貯金照会オンライン化の拡大に向けて